

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

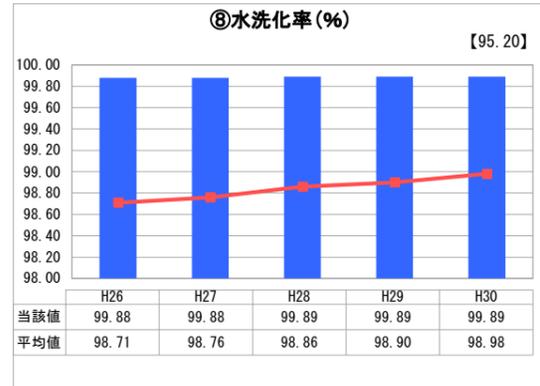
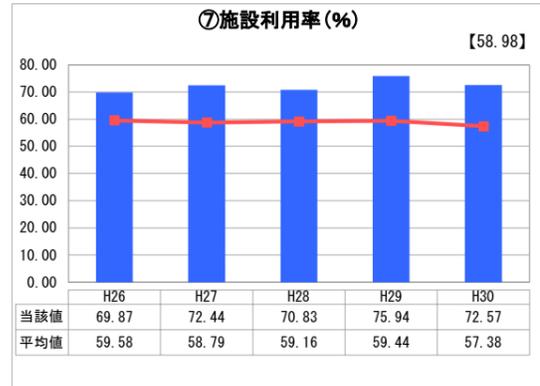
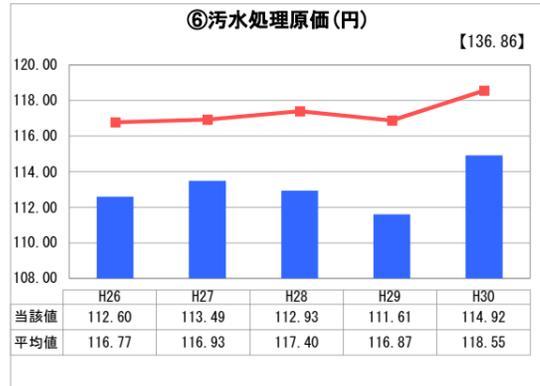
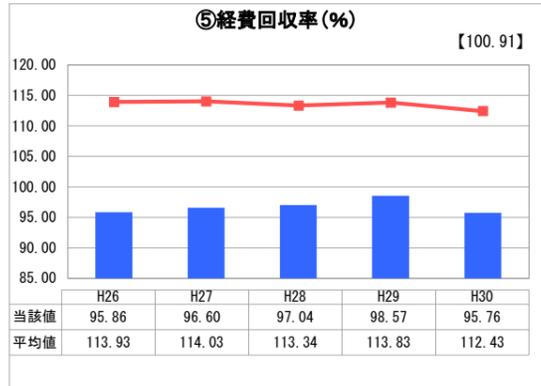
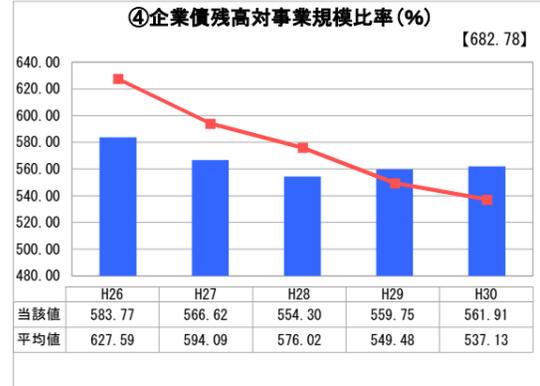
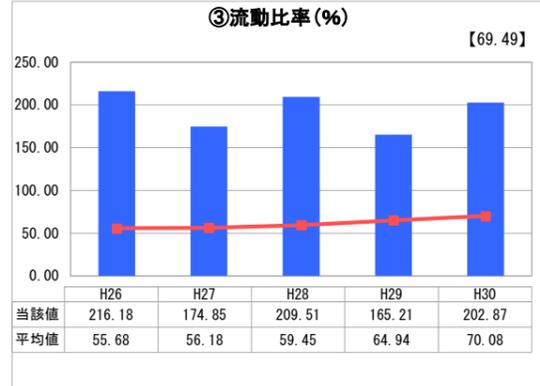
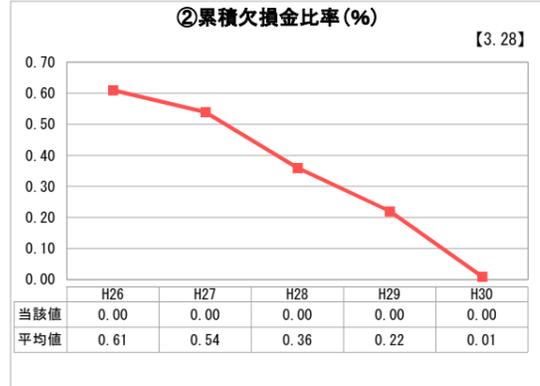
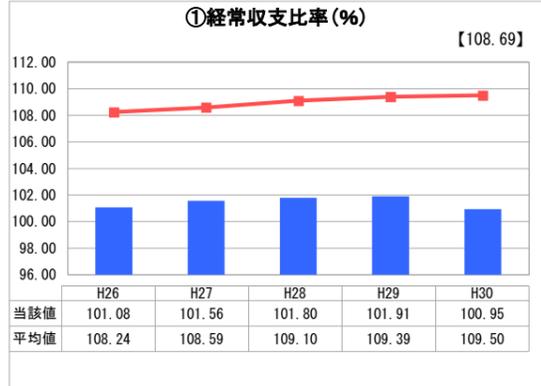
兵庫県 神戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	政令市等	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	76.74	97.71	92.42	1,566

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,538,025	557.02	2,761.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,497,732	170.56	8,781.26

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

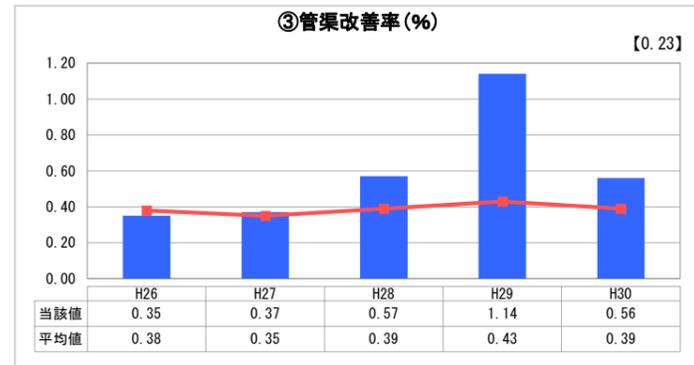
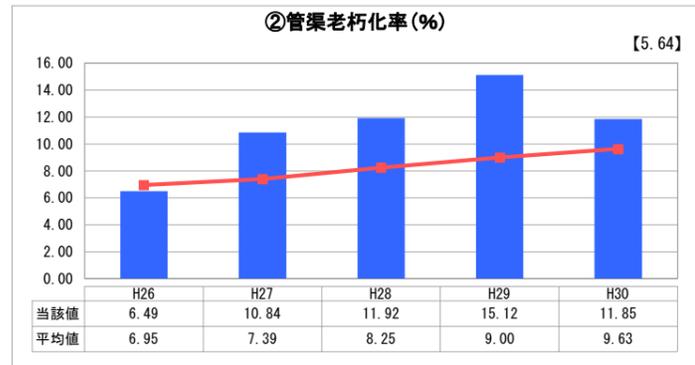
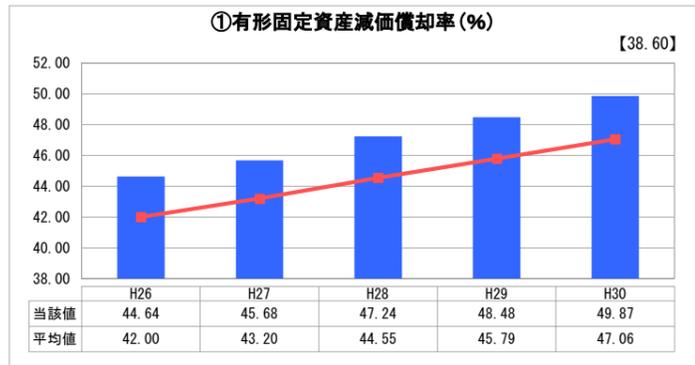
### 1. 経営の健全性・効率性について

①は、類似団体平均をやや下回っているが、100%は超えている。施設の老朽化が進む中、今後更なる改築更新が必要であることから、引き続き経営の効率化を進めていく。  
 ②は、平成26年度の会計制度の見直し以降、黒字決算となったため、累積欠損金が0となっている。  
 ③は、現預金を十分に確保しており、類似団体平均よりも高く十分な支払能力がある状態である。  
 ④は、これまで企業債残高の削減に取り組んできたが、平成29～30年度は、施設の老朽化による改築更新事業の増加に伴い、類似団体平均をやや上回っている。  
 ⑤は、100%を下回っており、回収すべき経費を使用料で十分に賄っていない状態にある。令和2年4月1日に使用料改定を行う予定であり、これにより令和2年度以降は100%を上回る見込みである。  
 ⑥は、これまでの維持管理の効率化により、類似団体平均よりもやや下回っている。今後も維持管理の効率化を行っていく。  
 ⑦は類似団体平均よりも高く、概ね適切な施設規模と考えられる。  
 ⑧水洗化を助成する制度の活用などにより、概ね100%に近い数値となっている。

### 2. 老朽化の状況について

①、②、③については、類似団体平均よりも上回っている。これは、昭和40年代後半に集中的に整備した管きょ、処理場、ポンプ場の老朽化が進んでおり、法定耐用年数を超える施設が今後増加していく。そのため、事業費の平準化を図りながら、改築更新のペースを加速させていく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」では、⑤が類似団体と比較すると低い状況にある。「2. 老朽化の状況」では、類似団体と比較すると老朽化が進んでいる状況にある。今後、人口減少による有収水量の減少により、下水道使用料の減収が見込まれる一方で、老朽化した施設の改築更新費用が増加する見込みであるため、令和2年4月1日に使用料改定を実施する予定である。これにより、⑤を100%以上とし、さらに改築更新の平準化を図ることで、健全かつ効率的な経営を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。